

## 第43回村山地区高等学校PTA研修会について



9月27日（土）秋晴れの素晴らしいお天気の中、「大江町町民ふれあい会館」において、村山地区のPTA研修会が開かれました。駐車場が限定された会場の都合に合わせて、市内の評議員の方には、西高に集合して相乗りしていただき、また左沢在住の保護者の皆様にも御案内をし、計19名の方に御参加いただきました。この参加人数は地区内高校で一番多く、お忙しい中お出掛け下さいました皆様には深く感謝申し上げます。

研究発表は、西高のPTA会長の會津さんが、「携帯・スマホの利用実態と問題点」というテーマで「LINE」等についての生徒アンケートを基に現状と問題点について考察した発表を行いました。続く、上山明新館の発表も「携帯電話・スマートフォンの使用状況と家庭・学校の連携した指導について」ということで、生徒の利用実態についての家庭や学校の取り組みが紹介されました。二つの発表とも一方的な禁止でなく、正しい使い方に向けて、御指導の熱意が伝わるもので実り多い研修会となりました。



研修会後半は「重要文化的景観『最上川の流通・往来及び左沢町場の景観』について」と題して、大江町教育委員会教育文化課歴史文化係主任水戸部泰子氏から御講演いただきました。耳慣れた言葉の「文化遺産」とは違う、「文化的景観」についての分かりやすい説明で、

歴史を重ねながら今に続く、最上川を中心とした、左沢のくらしの営みの風景の美しさに感動させられるお話でした。尚、水戸部氏は西高卒業生ですと最後に付け加えて、研修会の報告と致します。



山形西高 PTA 担当 竹澤敏子